

西南日本の深部低周波微動・短期的スロースリップ活動状況 (2008年5~7月) その1

- 短期的スロースリップイベントを伴う顕著な微動活動
 - 5月中旬愛知県 (2007年10月以来7ヶ月ぶり, 北東に移動, 2008年1月活動域の南側)
 - 6月中旬三重県 (2007年11月以来7ヶ月ぶり, 北東・南西に移動, 2008年3月活動域の南側)
- それ以外の主な微動活動
 - 5月中旬四国東部 (2008年2月以来3ヶ月ぶり, 東に移動)
 - 5月下旬豊後水道 (2008年2月以来3ヶ月ぶり)

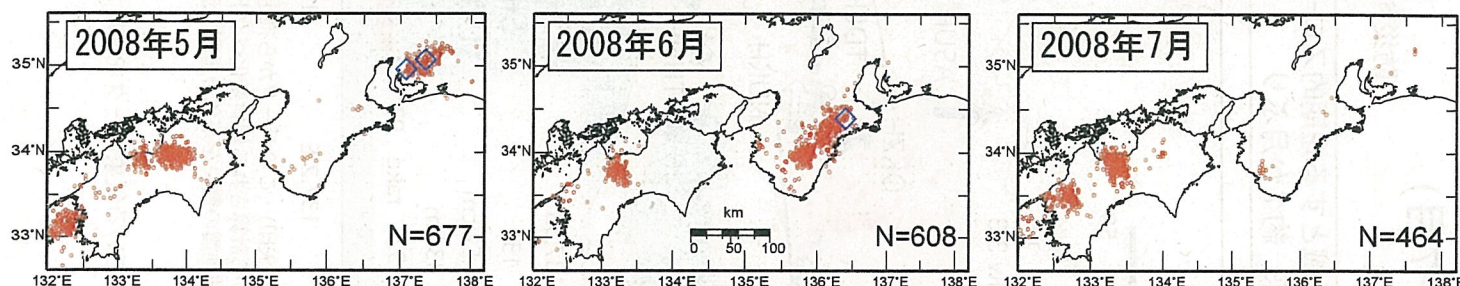


図1. 西南日本における2008年5月~7月までの深部低周波微動活動の微動源震央分布。赤丸が当該期間の微動の震央位置を表す。震央はエンベロップ相関法 (Obara, 2002) によって1分毎に自動処理された中で誤差が1km以内に推定されたものである。青菱形は周期約20秒に卓越する深部超低周波地震 (青菱形) (Ito et al., 2007) である。この期間中、明瞭なスロースリップイベントを伴う微動活動は、5月中旬に愛知県、6月中旬に三重県で発生し、いずれも約半年というそれぞれの地域固有の周期性に従うものである。四国東部及び豊後水道で5月に発生した微動はいずれもそれぞれの地域で3ヶ月ぶりの活動であった。四国中部では小規模な微動が毎月発生している。

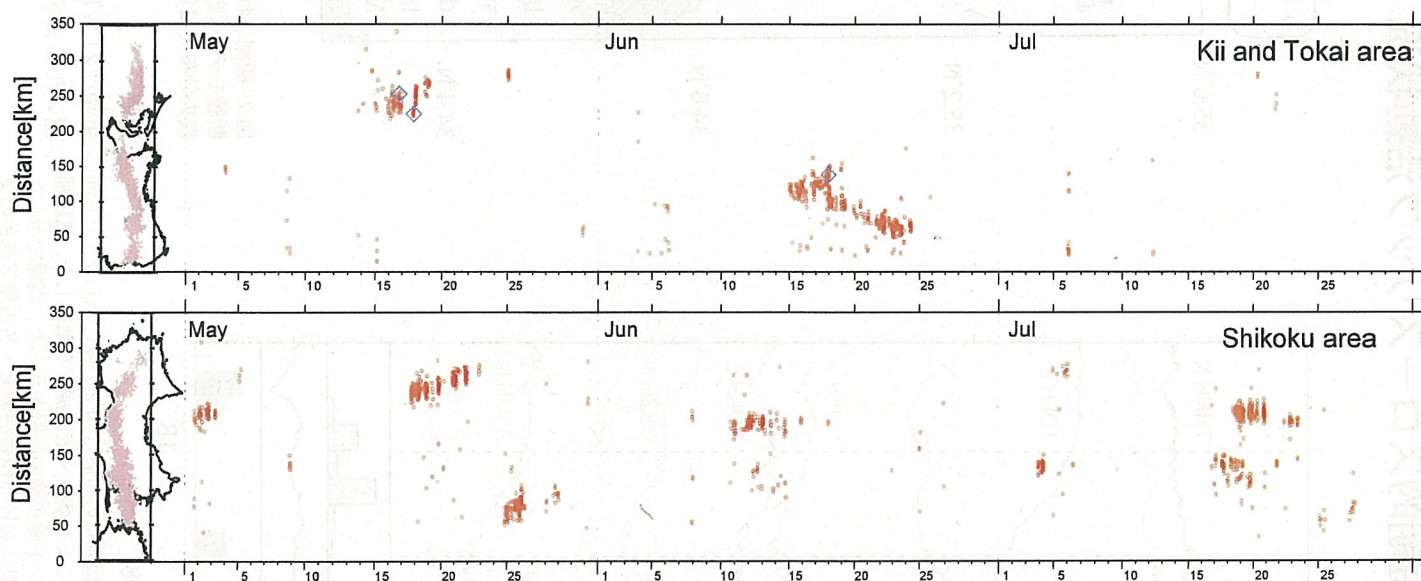


図2. 2008年5~7月の3ヶ月間の深部低周波微動 (赤点) 及び深部超低周波地震 (青菱形) の時空間分布。

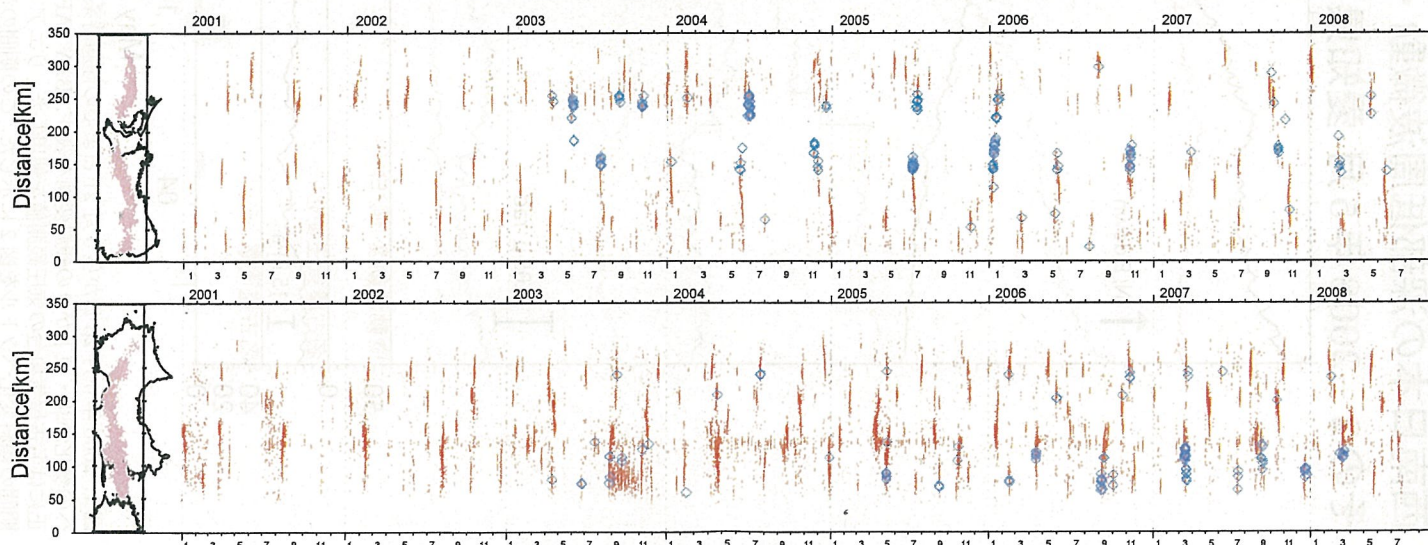


図3. 2001年から7年半の深部低周波微動 (赤点) 及び深部超低周波地震 (青菱形) の時空間分布。